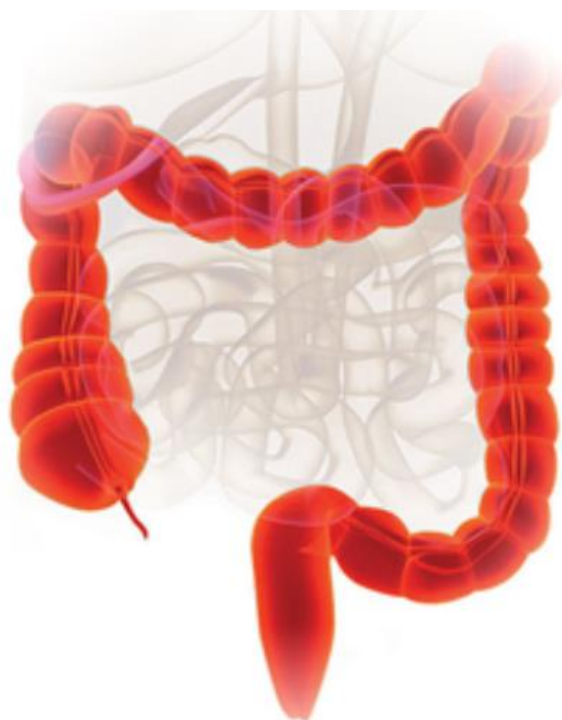


大腸がんに対するアスピリンの 予防効果と大腸内視鏡検査

英国の Rothwell らは、低用量アスピリンの大腸がん予防効果に関するメタ解析を行い、Lancet 誌に報告しました。



少なくとも1日75mgのアスピリンを数年にわたり用いることで、大腸がんの発生率と死亡率は低下し、この効果は、近位結腸がんでは最大でありました。



アスピリンと大腸内視鏡検査を組み合わせることにより、大腸癌リスクのさらなる低下が可能になると予想されます。